

工事事務(速報)の情報提供について

工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところではありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事務が発生しました。

各事務(管理)所の工事現場において、このような工事事務が再び発生することのないように工事事務概要を皆様にお知らせいたします。

本資料を活用し、受注者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願いいたします。

【工事事務(速報)発生状況】

(H26.6.30現在)

	6月発生件数	累計件数	死亡者数	負傷者数
平成26年度(今年度)	5件	13件	1人	6人
平成25年度(昨年度)	11件	77件	11人	32人

注1) 上記は、関東地方整備局管内の工事事務発生件数(速報)を示す。

注2) 「6月発生件数」は、6/1～6/30の間に起きた件数。(月毎分)

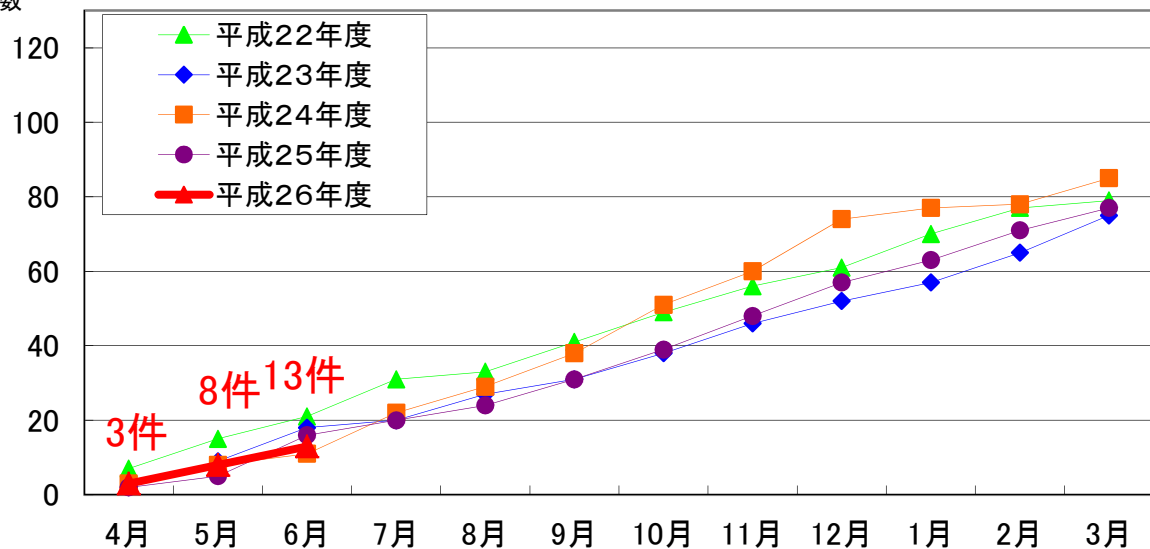
注3) 「累計件数」は、4/1～3/31の間に起きた件数。(累計分)

注4) 「死亡者数」・「負傷者数」は、4/1～3/31の累計人数を示す。

注5) 平成26年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。

●工事事務件数

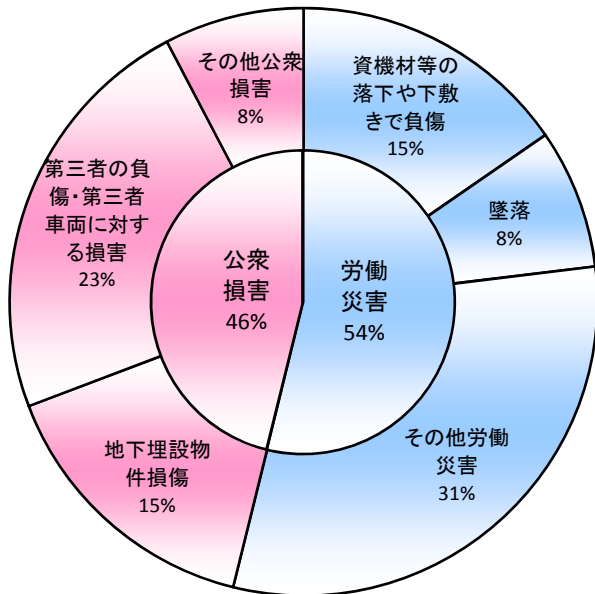
件数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成22年度 累計 (月毎)	7件 (7件)	15件 (8件)	21件 (6件)	31件 (10件)	33件 (2件)	41件 (8件)	49件 (8件)	56件 (7件)	61件 (5件)	70件 (9件)	77件 (7件)	79件 (2件)
平成23年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	9件 (7件)	18件 (9件)	20件 (2件)	27件 (7件)	31件 (4件)	38件 (7件)	46件 (8件)	52件 (6件)	57件 (5件)	65件 (8件)	74件 (9件)
平成24年度 累計 (月毎)	3件 (3件)	8件 (5件)	11件 (3件)	22件 (11件)	29件 (7件)	38件 (9件)	51件 (13件)	60件 (9件)	74件 (14件)	77件 (3件)	78件 (1件)	85件 (7件)
平成25年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	5件 (3件)	16件 (11件)	20件 (4件)	24件 (4件)	31件 (7件)	39件 (8件)	48件 (9件)	57件 (9件)	63件 (6件)	71件 (8件)	77件 (6件)
平成26年度 累計 (月毎)	3件 (3件)	8件 (5件)	13件 (5件)									

※なお、平成21年度工事事務より、国の管理物損傷事故件数を措置の対象としている。

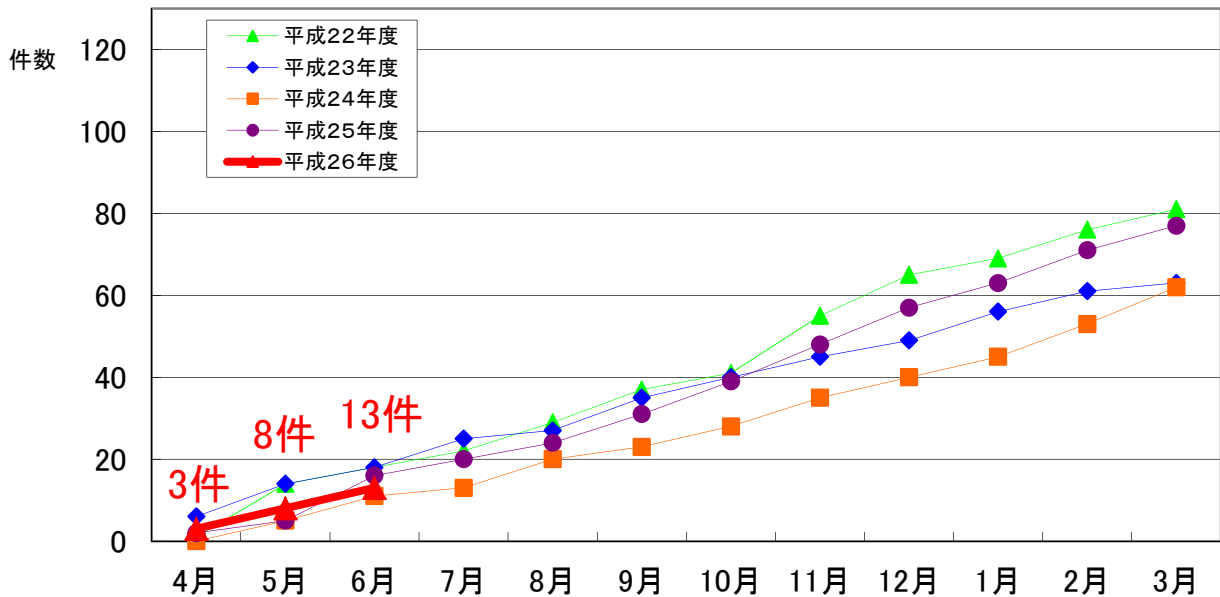
●平成26年度 工事事故発生状況(発生形態別)



	発生形態	H24	H25	H26	過去3年間計
労働災害	建設機械の稼働に関連した人身事故	7	6	0	13
	部材の加工作業等により自らを負傷	0	4	0	4
	資機材等の落下や下敷きで負傷	9	6	2	17
	墜落	5	6	1	12
	準備作業、測量調査業務等における人身事故	0	1	0	1
	その他労働災害	6	6	4	16
小計		27	29	7	63
公衆損害	架空線・標識等損傷	10	5	0	15
	地下埋設物件損傷	7	12	2	21
	第三者の負傷・第三者車両に対する損害	19	17	3	39
	その他公衆損害	19	10	1	30
	小計	55	44	6	105
その他事故		3	4	0	7
計		85	77	13	175

…H26年度重点的安全対策項目

(参考)工事事故のうち、「その他公衆損害」における車両管理業務等の車両の自損事故を除く事故件数(車両管理業務等の車両の自損事故を除いた工事事故件数)

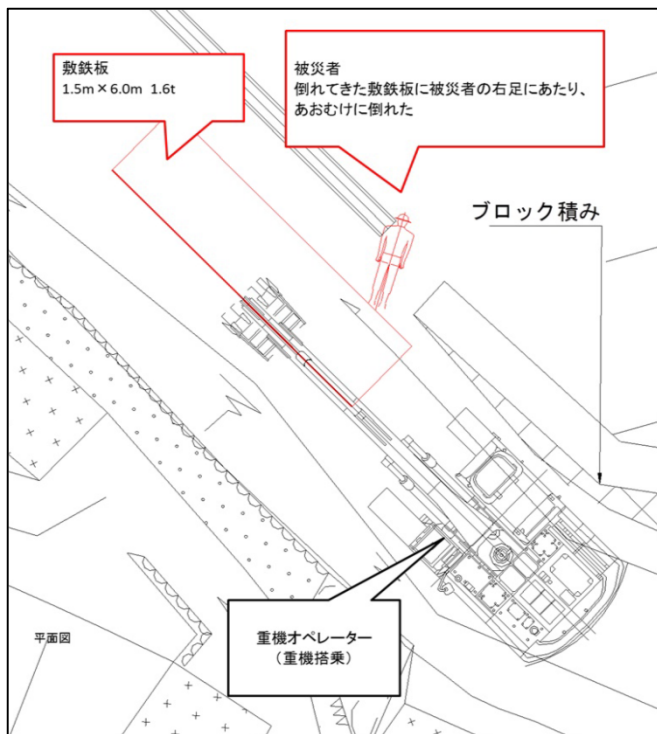


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成22年度 累計(月毎)	6件(6件)	14件(8件)	18件(4件)	25件(7件)	27件(2件)	35件(8件)	40件(5件)	45件(5件)	49件(4件)	56件(7件)	61件(5件)	63件(2件)
平成23年度 累計(月毎)	0件(0件)	5件(5件)	11件(6件)	13件(2件)	20件(7件)	23件(3件)	28件(5件)	35件(7件)	40件(5件)	45件(5件)	53件(8件)	62件(9件)
平成24年度 累計(月毎)	2件(2件)	6件(4件)	8件(2件)	18件(10件)	23件(5件)	31件(8件)	42件(11件)	50件(8件)	63件(13件)	66件(3件)	67件(1件)	74件(7件)
平成25年度 累計(月毎)	2件(2件)	5件(3件)	16件(11件)	20件(4件)	24件(4件)	31件(7件)	39件(8件)	48件(9件)	57件(9件)	63件(6件)	71件(8件)	77件(6件)
平成26年度 累計(月毎)	3件(3件)	8件(5件)	13件(5件)									

■問合せ先:企画部 技術調査課 遠藤・桑田 (TEL 048-600-1332)

発生日時	平成 26 年 6 月 10 日 (火) 16 時 35 分			
工事情報	道路系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	61	作業員	右第2、3、4中足骨 骨折
事故概要	敷鉄板の移動作業をバックホウにて実施していた際、敷鉄板を移動先で着地させたところ、鉄板吊り金具治具がはずれ、敷鉄板が作業員側に倒れ負傷したもの。			
	労働災害－その他労働災害			

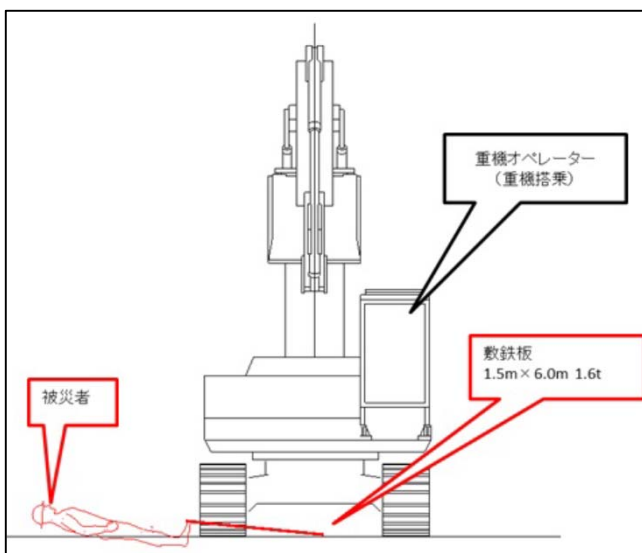
事故発生状況



・敷鉄板(1.5m×6.0m W=1.6t)の移動作業を0.45m3クレーン付バックホウにて被災者とバックホウ運転手の2名で行っていた。

・敷鉄板を移動先で着地させた時、治具が外れ敷鉄板が、被災者側に倒れ込んだ。被災者は、鉄板吊り治具の外れと共に後方へ避けようとしたが、敷鉄板が被災者の右足甲にぶつかり被災した。

・作業前に吊り治具を点検したが、異常は見られなかった。



【事故発生原因】

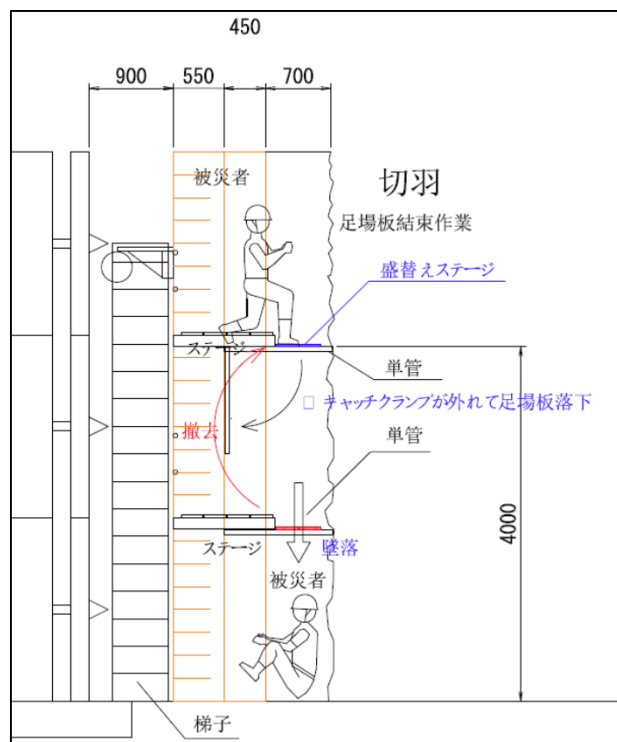
・吊り荷を素手で支えていた
など

【事故防止のポイント】

・介錯ロープの使用
など

発生日時	平成 26 年 6 月 18 日 (水) 4 時 0 分				
工事情報	道路系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	56	作業員	腰椎骨折、頭部挫創	
事故概要	作業員が足場板上にのったところ、支持した単管のキャップクランプが外れて、作業員が4m下に落下したもの。				
	労働災害－墜落				

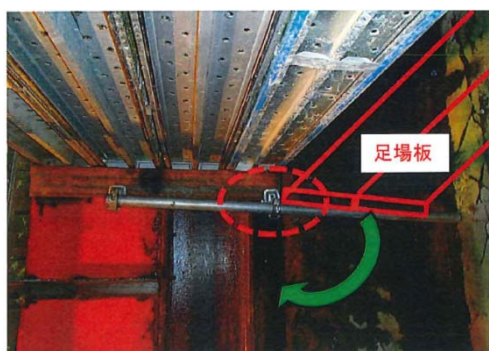
事故発生状況



・シールド立坑において、鏡切作業用の足場を鏡側に張り出す作業中に、作業員が足場板上にのったところ、支持していた単管のキャップクランプが外れて、作業員が4m下に落下し、負傷した。

・足場を単管とキャップクランプで組み立てる構造は、作業手順書と異なる構造であった。

・被災した作業員は、安全帯を装備していたが、使用していなかった。



<外れる前の状態>



<外れた後の状態>

【事故発生原因】

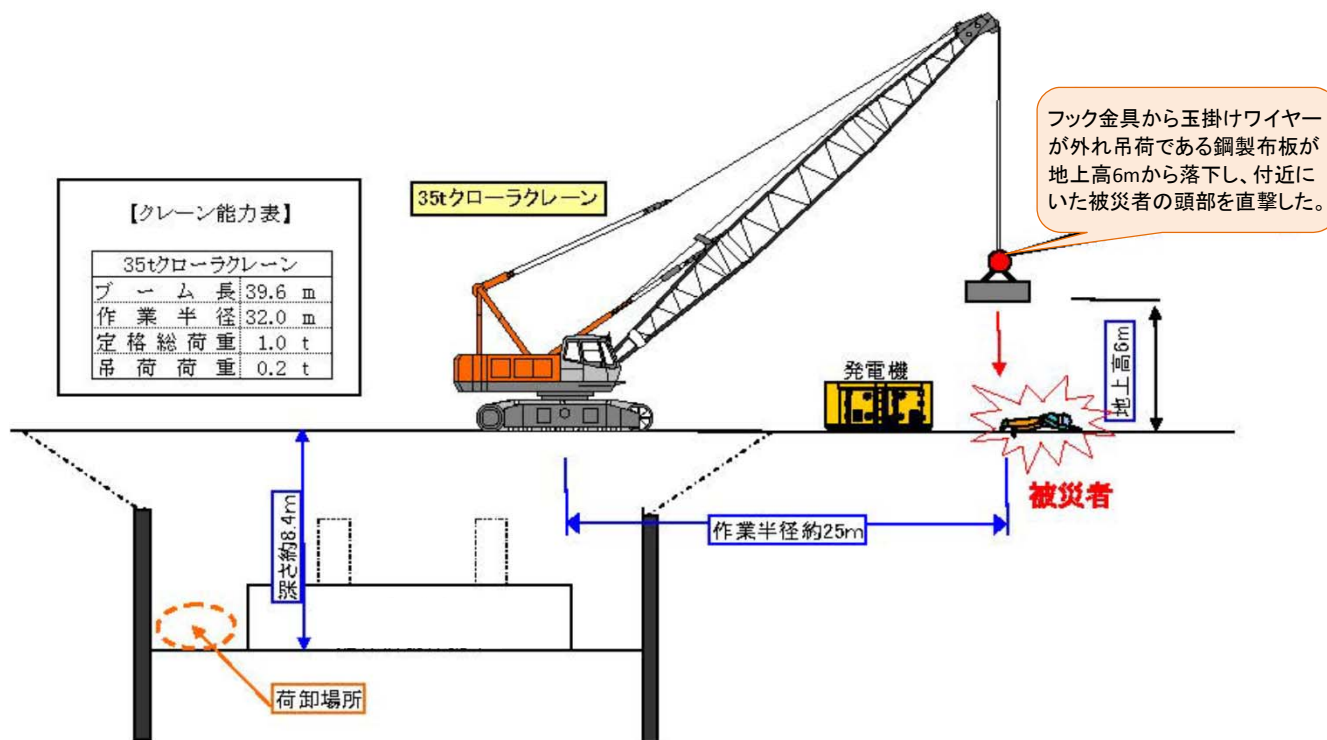
- ・安全帯を使用していなかったなど

【事故防止のポイント】

- ・安全帯の使用徹底
- ・作業手順書の周知徹底など

発生日時	平成 26 年 6 月 19 日 (木) 9 時 5 分				
工事情報	河川系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	55	大工	脳挫傷の可能性	
事故概要	クレーンで足場板を吊っていた際、玉掛けワイヤーがフックから外れて足場板11枚が落下し、下で型枠作業をしていた作業員の頭部に接触し負傷したもの。				
	労働災害－資機材等の落下や下敷きで負傷				

事故発生状況



・枠組足場に使用する 鋼製布板 (約16kg/枚) を35tクローラークレーンにて、掘削床付け面GL-8.4m (荷卸場所) に吊り降ろす作業を行っていた。

・鋼製布板を11枚重ね2本のワイヤーで玉掛けを行い、クレーンにて旋回したところ、吊荷ワイヤー2本の内1本が突然外れ、地上高約6mからバランスを崩した吊荷が近くで型枠準備作業を行っていた被災者の頭上に落下し被災した。

【事故発生原因】

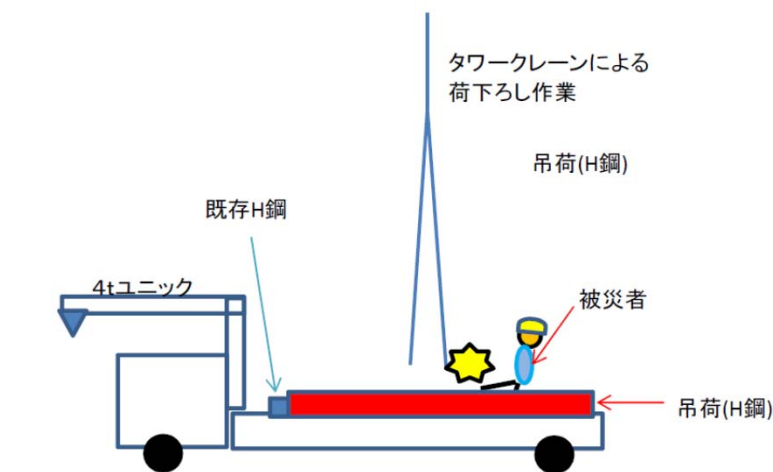
- ・足場板が緊結されていなかったなど

【事故防止のポイント】

- ・足場材などは、玉掛けワイヤーロープ以外のものでも緊結する等、抜け落ち防止措置を行う。 など

発生日時	平成 26 年 6 月 23 日 (月) 10 時 30 分			
工事情報	道路系事務所 PC工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	60	作業員	
事故概要	H鋼をタワークレーンにてユニック車の荷台に積み込む作業中、H鋼が作業員の右足に倒れて負傷したもの。			
	労働災害－その他労働災害			

事故発生状況



・H鋼をタワークレーンにてユニック車の荷台に積み込む際、荷を降ろして吊り具を外した後、フックを巻き上げた時に、吊り具がH鋼に引っかかった状態で巻き上げてしまったため、H鋼が被災者側に倒れて、右足を負傷した。

・被災者は、「玉外し」を行っていたが、玉掛け作業の資格を有していなかった。



【事故発生原因】

・無資格者による玉掛け作業など

【事故防止のポイント】

・有資格者による玉掛け作業を行う(玉外しだけでも資格が必要)など

発生日時	平成 26 年 6 月 23 日 (月) 16 時 30 分			
工事情報	道路系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	36	作業員	
事故概要	木の伐採作業中、伐採した木が作業員の方に倒れて、木の下敷きとなり、1名が死亡したものの。			
	労働災害一資機材等の落下や下敷きで負傷			

事故発生状況



・事故発生時は、作業員7名により2人1組のペアで伐採作業を行っていた。事故時は、ともに「伐採担当」である被災者ともう一人がペアを組み、互いの倒木に挟まれない離隔をとって(約30～40m程度の離隔を確保)作業をしていた。

・倒木の際、予定していた方向とは異なる方向(被災者側)に倒木し、下敷きとなった。

・当該木には、ツル(φ4cm程度)が全体的に巻き付いていたため、予定外の方角へ倒れ込んだものと推測される。(詳細調査中)

【事故発生原因】

・詳細調査中

【事故防止のポイント】

・伐倒の際、危険を生ずるようなツル等は除去しておく。
など